

NY マーケットレポート (2017 年 1 月 10 日)

NY 市場では、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなったものの、トランプ次期米大統領の記者会見を 11 日に控えて、世界経済に影響を及ぼす可能性のある財政拡大や貿易政策の変更を示唆する発言があるのか警戒感が広がっており、相対的に安全な通貨とされる円を買ってドルを売る動きが優勢となった。また、原油価格が下落したことや、米債券利回りが低下したことも影響し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、値を戻す動きが見られたものの、様子見ムードの高まりから、終盤まで上値の重い動きが続いた。

2017年 1月10日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	115.84	116.21	115.21
EUR/JPY	122.76	122.91	122.37
GBP/JPY	140.71	141.29	140.20
AUD/JPY	85.31	85.40	85.06
EUR/USD	1.0599	1.0628	1.0574

LONDON	高値	安値
USD/JPY	116.30	115.69
EUR/JPY	122.94	122.57
GBP/JPY	141.32	140.19
AUD/JPY	85.42	85.09
EUR/USD	1.0621	1.0562

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	115.72	116.35	115.29
EUR/JPY	122.19	122.92	122.11
GBP/JPY	140.83	141.45	140.39
AUD/JPY	85.30	85.40	85.12
NZD/JPY	80.92	81.08	80.74
EUR/USD	1.0560	1.0605	1.0552
AUD/USD	0.7371	0.7384	0.7333

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19855.53	-31.85
S&P500	2268.90	0.00
NASDAQ	5551.82	+20.00
日経225 (CME)	19325	-105
トロント総合	15426.28	+37.33
ボルサ指数	45886.27	+332.76
ボベスパ指数	62131.80	+431.51

1/11 経済指標スケジュール

14:00 【日本】11月景気一致CI指数
 14:00 【日本】11月景気先行CI指数
 16:00 【トルコ】11月経常収支
 18:30 【南アフリカ】12月SACCI景況感指数
 18:30 【英国】11月製造業生産高
 18:30 【英国】11月鉱工業生産
 18:30 【英国】11月商品貿易収支
 20:00 【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
 21:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 23:00 【メキシコ】11月鉱工業生産
 23:00 【メキシコ】11月製造業生産
 00:00 【英国】12月NIESR GDP予想

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1185.50	+0.60
NY 原油	50.82	-1.14
CMEコーン	358.25	-1.75
CBOT 大豆	1013.75	+8.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.190%	1.186%
3年債	1.446%	1.451%
5年債	1.878%	1.878%
7年債	2.180%	2.177%
10年債	2.376%	2.370%
30年債	2.966%	2.962%

ドイツ10年債	0.285%	0.278%
英国 10年債	1.362%	1.335%

1/11 主要会議・講演・その他予定

・米10年債入札

NY 市場レポート

20 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

12 月米 NFIB 中小企業楽観指数 105.8 (予想 99.3・前回 98.4)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

＜NFIB 中小企業楽観指数＞

12 月・・11 月・・10 月・・9 月・・8 月・・7 月

中小企業楽観指数・・105.8・・98.4・・94.9・・94.1・・94.4・・94.6

22 : 13

＜ 経済指標の結果 ＞

12 月カナダ住宅着工件数 20.70 万件 (予想 19.13 万件・前回 18.73 万件)

前回発表の 18.40 万件から 18.73 万件に修正



出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月カナダ住宅建設許可（前月比） -0.1%（予想 -6.0%・前回 10.5%）
 前回発表の 8.7%から 10.5%に修正



23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月メキシコ総設備投資 -0.9%（予想 0.3%・前回 0.7%）



0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米卸売在庫(前月比) 1.0% (予想 0.9%・前回 0.9%)

11月米卸売売上高(前月比) 0.4% (予想 0.5%・前回 1.1%)
 前回発表の1.4%から1.1%に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

指標結果データ

《米卸売在庫》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
在庫合計	1.0	-0.1	0.1	-0.1	-0.1	0.3
耐久財	1.0	0.1	-0.6	0.1	0.3	-0.2
・自動車	3.2	1.0	-1.8	0.3	0.2	-0.1
・機械	-0.2	-1.0	-0.7	0.2	0.1	0.0
非耐久財	1.0	-0.4	1.1	-0.4	-0.8	1.0
・医薬品	0.8	-3.2	2.8	-1.3	-1.3	4.5
・食料雑貨	0.5	0.3	-0.9	1.3	1.8	-0.5
売上合計	0.4	1.1	0.4	0.7	-0.6	1.7
耐久財	0.4	0.8	0.4	-0.6	-0.2	1.2
・自動車	0.5	0.1	2.0	1.6	0.0	-1.9
・機械	1.3	1.5	0.1	-2.7	-1.6	2.1
非耐久財	0.4	1.3	0.5	1.9	-1.0	2.2
・医薬品	2.1	0.5	0.8	1.2	-0.5	1.7
・食料雑貨	1.0	-0.5	0.6	1.4	-1.4	0.5

0:00

《経済指標の結果》

11月米JOLT労働調査[求人件数] 552.2万件（予想 551.7万件・前回 545.1万件）
 前回発表の553.4万件から545.1万件に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《JOLT労働調査》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
求人件数	552.2	545.1	563.1	545.3	583.1	564.3	551.4

<< 経済指標のポイント >>

(1) 11月の米卸売在庫は、前月比+1.0%の5953億500万ドルとなり、2ヵ月ぶりのプラスとなった。前年同月比では+1.4%。耐久財、非耐久財ともにプラスとなり、耐久財では自動車の伸びが目立った。非耐久財では農産物が大きく伸びた。

①耐久財は+1.0%となり、自動車が+3.2%と2013年10月以来の大きな伸び、専門機器が+1.3%、電気製品が+0.8%、機械は-0.2%となった。

②非耐久財は+1.0%となり、農産物が+5.0%、紙製品が+0.5%、医薬品が+0.8%、石油製品が+2.7%、衣料品は-0.5%だった。

(2) 11月の米卸売売上高は、前月比+0.4%の4526億2200万ドルとなり、4ヵ月連続の増加となった。前年同月比では+3.4%だった。

①耐久財は+0.4%となり、家具が+5.2%、自動車が+0.5%、電気製品が-2.4%。

②非耐久財は+0.4%となり、衣料品が-3.0%、農産物が-1.6%、石油製品が-3.5%、紙製品は+2.7%、医薬品は+2.1%。

(3) 11月の求人件数は、552.2万件となり、市場予想を上回り、前月から増加した。11月に雇用された労働者は522万人と、前月の516万人から増加、雇用率は3.6%で前月から変わらず。自発的離職者は、306万人となり、前月の302万人から増加、離職率は2.1%と、6ヵ月連続で同水準にとどまった。解雇者は164万人と、前月の157万人から増加、解雇者は9月に151万人と今回の景気拡大局面で最低を記録した後、2ヵ月連続増加した。

<< NY債券市場 ・午前>>

序盤のニューヨーク債券市場は、米3年物国債入札の前に積極的な取引が手控えられ、もみ合う展開となった。また、11日に予定されるトランプ次期米大統領の記者会見の内容を見極めたいとの様子見気分も強かった。

午前の利回りは、30年債が2.97%（前日2.96%）、10年債が2.37%（2.37%）、7年債が2.18%（2.18%）、5年債が1.88%（1.88%）、3年債が1.45%（1.45%）、2年債が1.19%（1.18%）。

<< 欧州のポイント >>

① イツ産業連は、2017年の独経済成長率が1.5%になるとの見通しを発表した。トランプ次期米大統領の通商政策や期待をそぐ中国政府の干渉（中国に進出している独企業への中国政府の介入）などを懸念事項として挙げている。独政府は2016年の成長率を公表していないが、昨年10月のドイツ産業連の見通しでは1.9%となっている。また、2017年の独輸出は2-3%増加する見通し。雇用者数は昨年の4350万人から50万人以上増加するとみられている。

② トルコ中銀は、銀行の外貨建て預金準備率を50bp引き下げた。市場の過度の変動を抑えるために必要に応じて追加措置を取ると強調した。中銀によると、引き下げは全ての期間の外貨建て準備預金が対象で、これにより金融システムの流動性が15億ドル増加する。また、11日付で銀行の借り入れ上限を220億リラ（58億6000万ドル）に引き下げると発表した。

3:00

<< 米財務省3年債入札 >>

最高落札利回り・・・1.472%（前回 1.452%）

最低落札利回り・・・1.350%（前回 1.320%）

最高利回り落札比率・・・86.68%（前回 78.93%）

応札倍率・・・2.97倍（前回 2.65倍）

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、英 FT100 指数は、ポンド安が輸出企業などの英国企業の業績拡大に繋がるとの期待を背景に堅調な動きとなり、9 営業日連続で終値ベースの最高値を更新した。一方、独 DAX 指数は、トランプ次期米大統領の記者会見を前にポジション調整などから買いが優勢となった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

4 : 00

米公定歩合議事録～（11/14、12/12、12/14の会合）

- ・「公定歩合を0.25%引き上げて1.25%とすることを決定」
- ・「12月12日の会合では12連銀のうち11連銀が0.25ポイント引き上げを要請」
- ・「11月の会合では9地区の連銀が公定歩合の引き上げを要求」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 0.60 ドル高の 1 オンス=1185.50 ドルで取引を終了した。

NY 金はドルが円などに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。また、中国の春節を控えて実需が堅調なことも支援材料となった。終値ベースでは、昨年 11 月下旬以来、約 1 ヶ月半ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 1.14 ドル安の 1 バレル=50.82 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国が合意した減産の実効性に対する懐疑的な見方が相場を圧迫した。米 EIA が短期エネルギー見通しで米原油の生産予測を上方修正したことも嫌気された。終値ベースでは、昨年 12 月上旬以来約 1 ヶ月ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

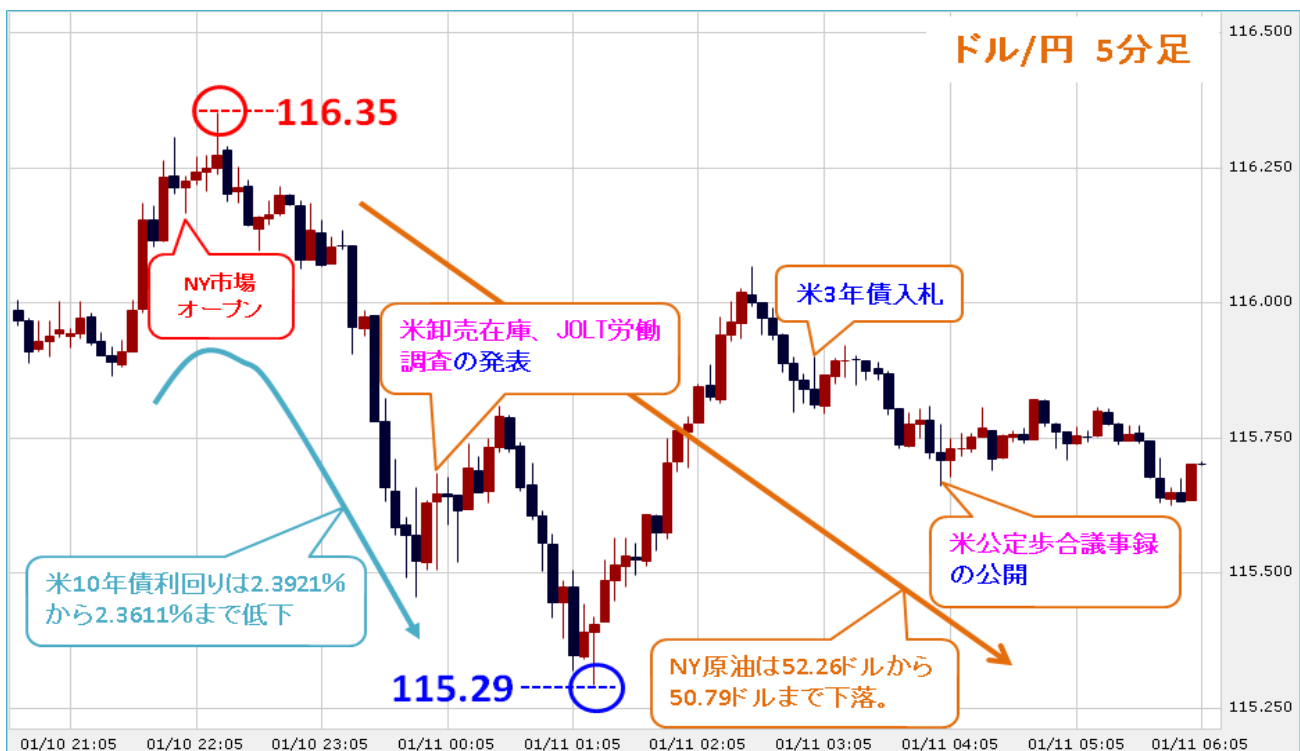
《米株式市場》

米株式市場は、原油価格の下落を背景に、石油関連株の下落が影響し、序盤は軟調な動きとなった。また、トランプ次期米大統領の記者会見を11日に控え、積極的な売買を見合わせる雰囲気も出ており、全般的に小動きの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤軟調な展開で始まったものの、一時プラス圏まで上昇する場面もあった。しかし、終盤には再びマイナス圏まで下落した。一方、ナスダックは続伸となった。



《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は堅調な動きが見られたものの、米債券利回りの低下や、原油価格の続落も影響し、円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、値を戻す場面もあったが、トランプ次期米大統領の記者会見を11日に控えて様子見ムードも強まっており、上値の重い動きが続いた。



提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。